

幾代会観察会(2021年6月)のまとめ

- ◆日時 2021. 6. 13 (日)
- ◆散策場所 あきる野市深沢
- ◆ポイント 千年の契り杉と山抱きの大榎とアジサイ
- ◆散策ルート 武蔵五日市駅～タクシーで①深沢自治会館～②千年の契り杉～③山抱きの大榎～④お休み処「松葉」で昼食～⑤深沢家屋敷跡～⑥深沢小さな美術館～武蔵五日市駅
- ◆参加者 宇津木・太田・須崎・中部・羽深・越前(記録)6名



散策ルートマップ

- ◆感想
6月の幾代会はそれぞれ樹齢が300年で天に突き刺す千年の契り杉と岩を抱え込んで樹幹を大きく広げた山抱きの大榎の巨樹を観察に行きました。参加者の宇津木さん、須崎さん、

羽深さんは初めてとのことで「良かったよ」と言って貰えました。契り杉で偶然出会った都内の親子連れ、子供さんが非常に興味を持って説明を聞き、目を輝かせて質問もして貰え良かったです。

お休み処「松葉」で昼食の時一時猛烈な雨が降りましたが食事を終わって外に出た時には止んで色鮮やかに成ったアジサイが帰り道のアチコチで見られました。今回は杉と檜とアジサイの解説を行い太田さんに「深沢小さな美術館」の説明をしてもらえてよかったです。

●千年の契り杉

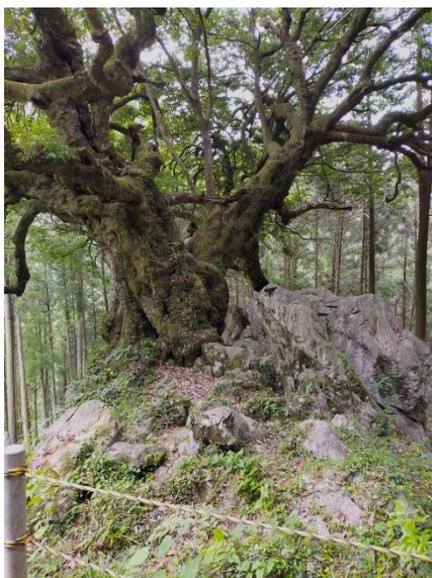


樹齢約 300 年以上、幹回り 7.8m、樹高約 45 m、別れた枝が上部で再び繋がり成長を続けているのが素晴らしい。

山深く神秘的な巨樹までの山道は西多摩マウンテンバイク友の会の方が地元の方達と一緒に 7 年前の 2014 年に整備し登り易かったが、湿度が高いので既に朽ちかけている杭もありました。

杉は日本固有種 1 種 1 属の樹木、日本一樹高が高くなり日本 1 長寿で縄文時代より日本文化を支えてきた。6 府県が杉を県木として指定し人々の精神を支えてきた。材は柔らかく素直で加工しやすい。これからもこのような日本の杉を誇りにし保存し利用して行かれればと思います。

●山抱きの大檜



樹齢 300 年以上、幹回り 6.5m、樹高 14 m のウラジロガシ。

露出した石灰岩の上に根を張り、四方に枝を張って力強く深沢の里を守っているように見えた。ウラジロガシは宮城・新潟県以西の本州、四国、九州、台湾に分布する常緑の檜で葉の裏が白いので命名された。葉の裏が白いのはロウ物質で水分の蒸発を防ぎ、害虫や病原菌から守る効果。檜の字は木が堅いと書き、かし類は材が硬いことが共通。江戸時代には槍の柄の材料として使用し宮城の角田市のとくらやまに江戸時代から続く森があり仙台藩の槍の生産のために作られ保護された。常緑広葉樹としては比較的、寒さに強く高尾山にも自然が豊かで異なる樹木が混在する。高尾山は薬王院

の寺域で人の手が入らず自然が守られるので残った。人の手が入ると生活に必要な薪や炭

の材料であるコナラやクヌギばかりの林になる。

●アジサイ



50年続く南沢アジサイ山は太田さんより説明がありました。

◆西多摩近辺のアジサイの名所、

- ・東京サマーランド 60種 15000株・入園料 850円、
 - ・南沢アジサイ山 10000株・入園料 500円、
 - ・高幡不動尊金剛寺 200種 7500株・無料、
 - ・府中市郷土の森 30種 10000株・入園料 300円、
 - ・国営昭和記念公園 60種 9300株・入園料シルバー210円
- の説明をし、岡さんがガイドをされている国営昭和記念公園が花ショウブ、スイレン等も楽しめるので超穴場と解説した。

◆アジサイの種類と進化について

ガクアジサイと山紫陽花が日本に自生し、ガクアジサイは突然変異しやすく品種改良しやすいので江戸時代にヨーロッパに持ち込まれ品種改良され、装飾花が手毬状に咲く西洋紫陽花が生まれた。

◆アジサイの色の变化と生きる特性（知恵）について

アジサイはアルカリ性で赤、酸性で青い花が咲く。

装飾花に液胞という液体で満たされた袋が有り、中にアントシアニンが含まれている。

土壌中のアルミニウムを吸収するとアントシアニンと作用して青い色素が出来て青く見える。酸性土壌ではアルミニウムは水に溶けだしやすく吸収しやすいのでアジサイは青い色に成る。

植物は金属をため込む種類が有りユーカリやヤブムラサキは金をため込むので、オーストラリアではユーカリの葉を分析して金鉱脈を見つけている。落葉は寒さと乾燥から植物を守るが毒を捨てる性質もある。有毒な金属に耐える植物のメリットは競争相手が少なく動物に食べられにくいので植物が生きていく特性の一つです。

●散策路の野草



武蔵五日市駅で2台のタクシーに相乗りし10分ほどで深沢自治会館に降りると、そこは両側が小高い山に囲まれた静かな山里。千年の契り杉の看板を右折し杉に囲まれた山道沿いに「これ、な～～んだ」「破れ傘」「葉に照りが有り、切れ込みが浅いのでモミジガサ」片道300mぐらいの山道沿いには至る所にミョウガ、みょうが、又ミョウガ、暑い夏が楽しみです。

ハエドクソウの蕾は固いものの花茎を伸ばし開花の準備！

千年の契り杉や山側のミニ鍾乳洞を見て山抱きの大榎へ。

こちらには白くて清楚なアカショウマが一輪。

西多摩地区にはよく似たトリアショウマは無いとのこと根元の茎が赤い。散策路に一株のツルリンドウが蔓を出していた。

「ツルリンドウはお猿のおしり」と宇津木さんから説明有。

くると白い花弁を巻いたウリノキや葉裏に咲くマタタビの白い花の観察。サービス精神旺盛な須崎さんはニコニコと出会った中学生にシロダモヤアラカシの丁寧な解説。さすが幾代会！！

山抱きの大榎を一周し、腹ペコで楽しみなお休み処松葉さんへ。肉厚なとんかつ定食が小鉢も付いてナント900円。



お洒落な邦子さんが一人で切り盛りするくつろげる空間でした。ざ～～と降った雨も食後は上がりラッキー～～。須崎さんの差し入れのバナナもペロリと食べて大満足！！昼寝がした～～いとの声も。あらあら

松葉さんを後に植物観察しながら武蔵五日市駅まで足取りも軽く、下りの道をスタスタと和やかに。

まずは、歴史のお勉強に深沢家屋敷跡に立ち寄りしました。五日市憲法草案が見つかった土蔵を見学。千葉卓三郎や深沢権八らが明治14年に憲法の草案を起草しました。かつての五日市の土地は並外れた財力も知識も改革精神も有りました。



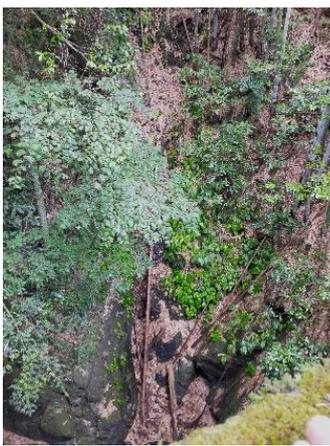
石垣にはユキノシタがビッシリと花を付けていた。

ユキノシタは上側の小さな3枚の花弁の色が赤味のあるものと白いものがある。ランナーを出して栄養増殖をする。多く咲くと華やかで綺麗です。同じく石垣からは数個の蕾を付けたヤマユリが垂れ下がっていた。本当に沢が有り山が有り自然が豊かですね。



お洒落な深沢小さな美術館や武蔵五日市駅までの道沿いには赤い帽子で、心和む ZIZI が道案内。

美術館のエントランスには赤、黄、オレンジとカラフルでお洒落なナスタチュームが丸い葉で彩を！



石垣の隙間から薄紫のホタルブクロが見ごろ、今年は花付きが良いですね。深沢川には小さな滝も有り、岩肌には今にも咲きそうなイワタバコ、さすが沢が深い！！南沢アジサイ山が有るのでアナベルはじめ色とりどりのアジサイがお出迎え、アジ

サイ山に行かなくても良いのよとの声



虫取り撫子の群生やたわんだ枝を付けたウツギの実、

自然人村近くの崖下にはオニグルミやアブラチャンの緑の実を観察、ミツバウツギの二股に分かれた緑の実もガードレール越しに観察。上から眺められるので何れも丁度観察しやすいですね。6月の植物を観察しながらアーでもないコーでもない楽しいお喋りが弾みます。幾代会の御一行様、お疲れ様でした。もうすぐ終点の武蔵五日市

駅ですよ。7月は小峰公園へハンゲショウとヤマユリを見に行きます。(越前記)